

試合番号 : 266	試合会場 : CNAアリーナ★あきた (秋田市立体育館)	観客数 : 875	
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:00	試合時間 : 02:00	
主審 : 服部 篤史	副審 : 高橋 宏明		
ジェイテクトSTINGS 通算 22勝 10敗 ポイント : 62		JTサンダーズ広島 通算 15勝 19敗 ポイント : 48	
監督コメント 新しくホームタウンとなった秋田で2連勝して勢いをつけたかったです。本当に悔しい敗戦となりました。負けてしまいましたが、選手たちは全力で戦ってくれ、良いプレーもあったと思います。良い点は来週に繋げ、修正すべき点は来週までに修正し、また気持ちを直し直して臨みます。秋田大会の2日間、たくさの応援ありがとうございました。良い環境、良い雰囲気での試合をさせていただいたことに感謝いたします。	1 25 第1セット 27 25 第2セット 27 25 第3セット 14 19 第4セット 25 第5セット	3 監督コメント 昨日の敗戦の悔しい思いを今日の試合に全員がぶつけてくれました。今日の勝利を胸に、チーム一丸となって残り2試合を戦っていきます。今日もご声援いただきありがとうございます。	
	要約レポート 第1セット、後半まで互いに譲らず、試合はそのままデュースへ。最後はJTサンダーズ広島の陳がサービスエースを決め、セットを先取した。第2セット、前半は第1セットと同様互いに譲らないゲーム展開となるが、エドガー、陳らの活躍でJT広島がリードを奪う。ジェイテクトSTINGSは西田、フェリペのスパイクや郡のバックアタックなどで粘りを見せ、逆転デュースに突入するも、最後はJT広島が粘るジェイテクトを振り切り、セットを連取する。第3セット、後がないジェイテクトは福山、フェリペにボールを集め、JT広島を大きく突き放す。JT広島も小野寺のブロックや熊倉のスパイクなどで食いが下がるが、ジェイテクトの流れは止められず、ジェイテクトがセットを取り返した。第4セット、JT広島が相手のミスをつきかけ一気に流れに乗るかと思われたが、ジェイテクトは西田のバックアタックやサービスエースで食いが下がる。中盤以降、JT広島はエドガー、陳にボールを集め、一時9点のリードを奪う。ジェイテクトは村山、西田のスパイクで応戦するも、JT広島の勢いを止めることができず、JT広島が勝利した。		

試合番号 : 267	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 584	
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:21	試合時間 : 01:21	
主審 : 中山 健	副審 : 澤 達大		
東レアローズ 通算 15勝 16敗 ポイント : 43		VC長野トライデンツ 通算 4勝 30敗 ポイント : 16	
監督コメント ホームゲーム最終戦だったので3-0という形で終わってよかったと思います。昨日、ベテランが作ってくれた流れを止めずに、今日出場したメンバーも一体感を出し戦ってくれたことが、結果につながったと思います。来週、最終戦となりますが、すべてを出し切れるよう準備したいと思えます。今日は足元が悪い中、たくさの応援ありがとうございました。	3 25 第1セット 19 25 第2セット 19 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	0 監督コメント サーブで相手にプレッシャーを与えることができず、先行したかったが残念な結果で終わってしまいました。来週はレギュラーラウンド最終週でホームでの試合となります。応援して下さる皆様のために最高のパフォーマンスと勝利という最高の結果で恩返しをしたいと思えます。今日も熱い応援ありがとうございました。	
	要約レポート ホームゲーム最終戦、連勝を狙う東レアローズと1勝を掴みたいVC長野トライデンツの試合。第1セット、序盤から拮抗した試合展開になるが東レが李のサーブから流れを掴む。対するVC長野も戸畷、リヴァンを軸に攻める。東レは藤井の的を絞らせない多彩なトスワークから富田、パダルが得点を重ね、東レがセットを先取した。第2セット、東レは富田、リベロ山口の好レシーブから攻撃のリズムを作り、星野、高橋のスパイクで先行する。VC長野もリベロ山本の好レシーブから池田(幸)、リヴァンが得点する。東レが終始アタックを決め続け、VC長野の追撃を許さずセットを連取した。第3セット、互いに堅い守備からどちらも譲らず一進一退の攻防が中盤まで続いた。VC長野は戸畷、リヴァンのスパイクで追い上げを見せたが、東レは高橋のクイック、藤井のブロックからVC長野を寄せ付けずに押し切り、東レがホームゲーム最終戦を勝利で飾った。		

試合番号 : 268	試合会場 : エントリオ (豊田成記念体育館)	観客数 : 1,500	
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:41	試合時間 : 01:41	
主審 : 江下 毅	副審 : 村中 伸		
ワルフドッグス名古屋 通算 24勝 8敗 ポイント : 70		パナソニックパンサーズ 通算 27勝 7敗 ポイント : 79	
監督コメント まずは、豊田成記念体育館「エントリオ」で試合ができたことを嬉しく思います。この試合まで非常に長い道のりで、この試合も含めて苦しい時もありました。我々ワルフドッグス名古屋を応援して下さるサポーターの皆様の声なき熱い後押しで、何度も助けられました。本日も会場から応援して下さった方々、またメディアやインターネットを通じて応援して下さった方々に感謝申し上げます。皆さまの健康を心の底から祈ります。来週はパークアリーナ小牧での今シーズン最後のホームゲームです。赤と白の旗の友情が永遠に続きますように。Best Day Ever!	3 25 第1セット 21 26 第2セット 24 25 第3セット 23 第4セット 第5セット	0 監督コメント 相手のモチベーションの方が高かったと思います。私たちはミスが多すぎたので勝てませんでした。もっと良いプレーができる自信はあるので、これからの期待してください。応援よろしくお願ひします。	
	要約レポート 3セットを通して、20点以降までもつれる競った試合となったが、得点を重ねる度に赤い応援カードと大きな拍手が体育館を包み、ファンの後押しを背にワルフドッグス名古屋が競り勝った。この勝利をもって、W0名古屋のファイナル3進出が決まった。勝利したW0名古屋は、クレクが大車輪の活躍を見せて勝利に大きく貢献した。高さやパワーだけでなく、上がってくるトスに対して1本1本コースや打ち方を絶妙に変え得点を重ねていく。得点する技術に於ける能力が群を抜いていた。さらに第2セット中盤に怪我で一旦ベンチに下がったが、終盤コートに戻り2つのブロックを決めるなど、試合のポイントを見極めたプレーも光っていた。また、W0名古屋は山崎の思い切りの良いスパイクもチームを活気づけていた。敗れたパナソニックパンサーズは、3セットともスタメンを変えて臨み、どのセットもあと一歩のところまで迫る内容で、個々の技術の高さは素晴らしい。		

試合番号 : 269	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 1,975	
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:23	試合時間 : 01:23	
主審 : 山本 和良	副審 : 城 智人		
サントリーサンパーズ 通算 30勝 2敗 ポイント : 85		大分三好ヴァイセアドラー 通算 3勝 31敗 ポイント : 12	
監督コメント モチベーションを高く維持し臨むことが難しいと感じていました。その中で、選手達は高い集中力とパフォーマンスを発揮してくれたことが、勝因だと思います。途中から出場した選手も、先発選手と遜色のない活躍をしてくれました。残り試合が少なくなってきましたが、一戦一戦成長しファイナルを迎えられるよう、準備していきたいと思えます。2日間素晴らしい環境で試合ができたことに感謝します。引き続き進化するサンパーズをよろしくお願ひします。	3 25 第1セット 13 25 第2セット 22 25 第3セット 16 第4セット 第5セット	0 監督コメント 昨日の試合同様にブレイクが取れず、相手の思うようにやられた試合でした。2日間を通してサントリーの強いサーブとブロックで苦しめられたことが敗因の一つです。我々は残された試合を全力で戦えるよう、もう一度修正し、粘り強く戦っていきたく思います。今日は応援ありがとうございました。	
	要約レポート 昨日の勝利でレギュラーラウンド優勝を決めたサントリーサンパーズと大分三好ヴァイセアドラーの戦い。第1セット、サントリーは小野、柳田の攻撃で3連続得点と好スタートを切る。その後も塩田、柳田の攻撃で徐々にリードを広げ、後半までその勢いのまま、藤中、ムセルスキーの攻撃で、一気にセットを取る。第2セット、大分三好はバグナスとストックトンのスパイクで応戦する。一進一退の攻防で13-13となるも、サントリーは大宅、小野のブロック、加藤のサービスエースなどで連続得点を重ね、粘る大分三好を振り切り、最後は栗山のバックアタックでセットを連取する。第3セット、サントリーは大宅の多彩なトスワークから繰り広げられる攻撃で勢いが止まらない。大分三好も山田、途中出場の古賀にボールを集めて反撃するが、サントリーは栗山の攻撃、藤中、加藤のブロック、速攻などで連続得点をあげ、今シーズン最後のホームゲームを勝利で飾り、連勝を「22」に伸ばした。		

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 270		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 340						
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:32		試合時間 : 01:32		主審 : 林 淳一		副審 : 千代延 靖夫				
堺ブレイザーズ		通算	17 勝	17 敗	26	第1セット	24	FC東京				
			ポイント : 49					通算	8 勝 25 敗			
監督コメント	<p>今日はGreat offense match!! 攻撃で圧倒することができ、とても良いゲームとなりました。サーブに関する試合が進心につれて良くなり、安定して強いサーブで攻めることができたと思います。ストレートでの勝利が、2日連続でできたのは、ホームの一体感を生んでくれたサポーターの皆さまのおかげです。ありがとうございました。最後の試合も全力で臨みます。</p>				3	25	第2セット	19	0	監督コメント	<p>山田選手の230試合出場達成を勝利で祝いたかったが、堺ブレイザーズの完璧なサイドアウトを切り崩すことができなかった。来週、今シーズン最後のゲームとなるが、強豪ウルフドッグス名古屋に全力でぶつかり勝利をつかみ取りたい。2日間すばらしい環境の中で試合をさせていただき、本当にありがとうございました。</p>	
						25	第3セット	16				
							第4セット					
							第5セット					
要約レポート		<p>ホームゲームで連勝を狙う堺ブレイザーズとFC東京の一戦。第1セット、堺は樋口の攻守にわたる活躍で中盤までリードをするも、FC東京は長友、迫田のサービスエースで逆転に成功し、主導権を取り返す。デュースにもつれ込むと、堺はリベロ山本を中心にボールを繋ぎ、松本、樋口がスパイクを決め、セットを先取した。第2セット、中盤まで互いに歩も引かない試合展開の中、堺はジョンのサービスエースで流れに乗ると、セッター関田の巧みなトスワークでFC東京のブロッカーを翻弄し、得点を重ねる。FC東京はセッターを手原から山田に交代して流れを変えよう試みたが、勢いに乗った堺を止めることはできず、堺がセットを連取した。第3セット、後がないFC東京は黒田、フレモビッチを投入して流れを引き込もうとしたが、安定した攻撃力で勢いに乗った堺は、リリーフサーバー小池がサービスエースでこの試合を決定づけると、最後はジョンのスパイクで勝利した。</p>										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :						ポイント :	
監督コメント							第2セット			
							第3セット			
							第4セット			
							第5セット			
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :						ポイント :	
監督コメント							第2セット			
							第3セット			
							第4セット			
							第5セット			
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	- 勝	- 敗		第1セット		通算	- 勝	- 敗
			ポイント :						ポイント :	
監督コメント							第2セット			
							第3セット			
							第4セット			
							第5セット			
要約レポート										